

やすらぎ新聞

冬号

一般社団法人 尾道市医師会
介護老人保健施設 やすらぎの家
2023年 1月 259号

2023

新年あけましておめでとうございます。 やすらぎの家施設長 伊藤 勝陽

2020年から始まったコロナ感染は3年を経ますが、デルタ株、オミクロン株などいろいろな形を変え収まる気配が見えません。やすらぎの家入所者の平均年齢は87歳、しかも基礎疾患をお持ちの方が多いため感染すれば重症化する可能性が高く、さらにワクチンを接種していても感染します。そのためご利用時にはご本人のみならずご家族の体調までお聞きしたり、面会に際し人数を制限したり窓越しに携帯電話を使うなど不便をおかけしています。これからも基本的な感染対策を行いますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。昨年の11月に老健と言う雑誌の取材を受けました。良い施設ですねと褒められましたので1月号の記事が楽しみです。ところで今年は十二支の「卯」、十干の「みずのと」がかさなる40/60の年。卯は冒や茂の意を持ち草木が茂る地面を覆うようになった状態を表し、春の訪れを感じるという意味だそうです。ウサギは安全の象徴、飛躍、向上の意味もあるようです。みずのとは雨や霧、静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、十干の最後の癸は生命の終わりを意味するとともに、次の新たな生命が成長し始めている状態だそうです。長いコロナの冬が終わり春を待ち望むとともに皆様のご多幸を祈念いたします。

謹んで新年のお祝いを申し上げます。 副施設長 豊田 眞子

旧年中は格別のご配慮を頂き心より御礼申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。コロナ禍への感染対策に追われる日々から、ウィズコロナを考え、今後の新しい施設対応を考える一年でした。今後もししたら安全・安心な生活を守り、利用者様とご家族様にとって喜びや楽しみが感じられる施設になるかを職員と共に考えています。施設でのご様子を画像やオンライン動画などの工夫をして新しい情報をお届けができるように取り組んで参ります。皆様にとって兔のごとく飛躍の年になりますようにお祈りいたします。

新年明けましておめでとうございます。 事務長 井手口 隆志

いつも「やすらぎの家」のご利用を頂きまして誠にありがとうございます。新年を迎えご利用者様にはよりよいサービスを提供できるように、職員一同頑張っています。新型コロナウイルス感染症の広島県内の感染者は56万人前後と死亡者も900人前後になっています。新年が明けた頃には「第8波」の襲来が予想されています。中国は「ゼロコロナ対策」と、都市封鎖を断行しています。日本はどのように進むのでしょうか？

さて、プロ野球は日本シリーズ「ヤクルト」対「オリックス」は、三冠王の村上と山田を押さえ込み、2敗1分けから4連勝し日本一となりました。カープは四年連続Bクラスと低迷しています。今年は、新井新監督に期待しましょう。

「FIFA ワールドカップカタール」大会が開催され、「元広島サンフレッチェ」森保監督が率いる日本の予選リーグで強豪「ドイツ」「スペイン」を破り、1位通過し決勝トーナメントに進出しました。個々の力量が試合で集中した勝利だと思います。多くの感動を与えてくれました。

今年の干支は「うさぎ」です。「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」「物事の始まりと終わり」という意味があると言われています。今年の卯年は、今までの数年間から大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になって欲しいものです。



☆秋の競技会☆



昨年度までは風船バレー大会を実施していましたが、今年度は「秋の競技会」と題し、各部署に分かれてそれぞれの競技を行いました。

ひかり棟では利用者の方にも事前から手作りの金魚の作成に協力して頂き、金魚すくいを実施しすくう数を競い合いました。

のぞみ棟では射的を実施し、なかなか的に当たらず苦戦する様子や、高得点に当たり喜ばれている様子など、カープのユニフォーム姿の職員と盛り上がりました。

通所リハビリでは2チームに分かれて野球ゲームを実施し、上手くボールが当たる様に頑張られました。対抗となると必死になり、より刺激になられたようです。



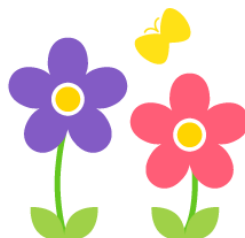
♪ひと言コラム♪

のぞみ棟にて月下美人が咲きました。

月下美人はサボテン科・クジャクサボテン属に分類されるサボテンの仲間です。

夜暗くなってから花を咲かせ、花の寿命は1日と短命であることから、花言葉は「儂い恋」「はかない美」と言われています。

また来年にも綺麗な花を咲かせて欲しいですね。





クリスマス会

ひかり棟では、12月21日（水）にクリスマス会を開催しました。今年度最後の『劇団 ミキ』によるシンデレラの公演で利用者の皆様に楽しんで頂きました。公演の練習が2日ほどしか出来ませんでしたが、役者の皆さんの演技がプロフェッショナルで、最高でした！利用者の方からも「良かったよ！」という嬉しいお言葉を頂き、次回作を作る意欲も湧いてきます、と団長から話がありました。



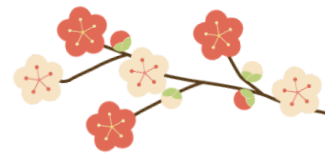
のぞみ棟では12月23日（金）にクリスマス会を行い、療法士、のぞみ棟の職員でハンドベルの演奏を行いました。

「きよしこの夜」「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」とのぞみ棟職員8名による「星に願いを」を演奏し利用者の方と歌って楽しい時間を過ごしました。今年もコロナ対応でのクリスマス会となりましたが、各棟で楽しめる行事が行えました。



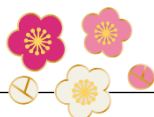


～新入職員の紹介～



井手口 智子
准看護師

やすらぎの家の設立当初から勤務していましたが、途中他で色々な事で学びに行く旅に出てました。また、こちらで仕事出来る事を嬉しく思います。若い人に頼りながら頑張りますので、よろしくお願いします。



蔵本 美保
介護士

入社して6か月になります。あっという間に過ぎた6か月のような気がします。まだまだ手際が悪く迷惑をかけていると思いますが、部署の方々の明るく意外な一面を見せてもらいながら、利用者の方々への接し方を参考にしながら頑張っていきたいです。よろしくお願いします。



有井 久恵
介護士

今回、老健で勤めることが初めてになります。色々勉強しながら、若い方にパワーをもらいながら、頑張っていきますのでよろしくお願いします。



移動理容車からのお知らせ

男性へのカミソリを用いた顔そりは年内で終了しました。

代替えとして電気シェーバーを使用したサービス提供は可能ですが、料金は同じになります。なお、女性の顔そりは従来通り行わせて頂きます。御利用のお客様には、大変ご迷惑をおかけ致しますが、今後ともよろしくお願い致します。



編集後記

2023年も始まりました。コロナ禍も4年目に入りました。御家族様の協力の下、いつも感染症対策にご協力して頂き、おかげ様でこうして御利用者様にも安心して御利用頂けており、とても感謝しています。

早くコロナが終息し、みんなで楽しめる行事ができることを願っています(^_^)

次号は4月発行です。お楽しみに！

発行：一般社団法人 尾道市医師会
介護老人保健施設 やすらぎの家
住所：〒722-0042
尾道市久保町1718(尾道ふくしむら内)
TEL：(0848)20-7150
FAX：(0848)20-7152
編集者：村上麻衣子 箱崎千秋 岡野尚美
高峰典枝 田口雅代 山本由美
山下幸 能勢友恵

監修／豊田眞子